

Catalyst 3850/3650 スイッチの IOS マッピング および機能セット専門語への IOS XE

目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[IOSバージョン マッピングへの IOS XE](#)

[製品 ID とライセンス機能セットの関係](#)

[関連情報](#)

概要

この資料は IOS デーモンと呼ばれる、または IOSd ことがのと同時に Cisco IOS XE 内のプロセス動作する Cisco IOSソフトウェアを記述したものです。 インフラストラクチャ コンポーネントの多数が Cisco IOS から高可用性のような Cisco IOS XE に移行する間、Cisco IOSソフトウェアの機能は丁度従来の Cisco IOS Release できるように Cisco IOS XE の内で動作するそれら同じです。

この資料は Catalyst 3850 スイッチを on Cisco 実行するそれぞれ標準的な IOSバージョンと Cisco IOS XE ソフトウェア バージョン間のマッピングを理解して重要です。

それはまた Catalyst 3850/3650 プロダクト ID の終わりに意味するか何をサフィックスを説明し。

前提条件

要件

このドキュメントに関しては個別の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。 このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

IOSバージョン マッピングへの IOS XE

表 1 illustrates Catalyst 3850/3650 プラットフォームのための IOS マッピングへの IOS XE。

IOSバージョン マッピングへの表 1. IOS XE。

Cisco IOS XE のバージョン	Cisco IOS Version
16.x バージョン	該当なし
03.06.08E	15.2(2)E8
03.06.07E	15.2(2)E7
03.06.06E	15.2(2)E6
03.06.05E	15.2(2)E5
03.06.04E	15.2(2)E4
03.07.05E	15.2(3)E5
03.07.04E	15.2(3)E4

各 .bin イメージ ファイルはこのようなフルネームで両方のバージョンを示します:

cat3k_caa-universalk9.SPA.03.06.08.E.152-2.E8.bin

製品 ID とライセンス機能セットの関係

Catalyst 3850/3650 スイッチのために [Download ページ Ciscoソフトウェア](#) にナビゲートする場合完全なプロダクト ID を見つけます。ただし、それは **show version** 出力の下でプロダクト ID と完全に一致しません。それはある最後の文字なしにあります

シスコのページ : Catalyst 3850-24P-S Switch

show version : WS-C3850-24P

最後の文字はスイッチに同梱されている機能を指し、**show version** または **show license right-to-use** 出力は、現在のライセンスを示します。

表 2 は、考えられる文字とそれらに対応する機能セットを示します。

表 2Catalyst 3850/3650 スイッチの機能セットの名称。

L	LAN Base
S	IP Base
E	IP Services

関連情報

- [Cisco Catalyst シリーズ スイッチのデータ シート](#)
- [Cisco IOS XE および Cisco IOS ソフトウェア リリース 15](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)